

「社会にかかわり、これからの社会を担う子どもを育てる」
みんなの子どもを、教職員、保護者、地域が一体となった「チーム松沢」で育てる
地域の松沢小を「チーム松沢」で創る

「みんな**で**楽しく、みんな**が**楽しく」 「みんな**で**育てる、みんな**が**育てる」

1 教育目標

○やさしく ○かしこく ○たくましく

<育てる子どもの姿>

○やさしい子

「思いやりや感謝の心をもって、すすんでよりよい人間関係を築く能力や態度」を育てます。

○かしこい子

「学ぶ意欲を高め、自らすすんで学習課題をもち、主体的に解決していこうとする能力や態度」を育てます。

○たくましい子

「多様な他者のよさを理解し、協働して解決しようとする態度を身に付け、力を合わせて達成する能力や態度」を育てます。

2 教育目標の達成に向けた基本方針

- 確かな学力を育成します。 ○豊かな心を育成します。
- 健やかな身体を育成します。
- 特別支援教育を推進します。 ○安心・安全な学校づくりを進めます。
- 家庭・地域への積極的な情報発信、連携・協働を推進します。
- 教職員の資質・能力の向上、業務の効率化を推進します。

3 具体的な取組

(1)「確かな学力」の育成

就学前教育を踏まえた低学年からの系統的な学習習慣の確立、基礎学力の確実な定着を目指します。一人1台のタブレット端末を効果的に活用し、授業改善を進めます。

①自ら進んで学ぶ態度を育みます

- ・子どもが課題を見出し、解決するための計画・方法を考え、他者と共感・協働し、自己の学びを振り返り、次へつなげる「探究的な学びの過程」を通して、「あれ?」「どうして?」「こうしてみよう」「そうか!」「分かった!」と子どもが感じる授業を進めます。
- ・一人一人の子の実態を踏まえ、興味・関心や学ぶ意欲を高める指導を充実するために、3～6年生の算数において習熟度別指導を実施します。
- ・教科担任制の実施を視野に入れ、高学年を中心に交換授業を行うとともに、各学年の一部単元において教員間の交換授業を行い、より多くの大人の目で子どもを見守ります。
- ・主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びと協働的な学びを推進するため、問題解決的な学習や、体験的な学習を取り入れ、見通しをもって粘り強く取り組み、自分の学習を振り返って次の学習につなげる学び、友達と関わりながら考えを深めたり表現したりする学びの充実を進めます。

②基礎学力の定着を進めます

- ・基礎学力の確実な定着を図るため、全国学力・学習状況調査を行い、その結果からきめ細かな子どもの実態把握、課題の明確化、授業改善を進めます。

③学びの充実に向けた取組を推進します

- ・学習評価の充実を図り、自ら学ぶ力を育成するとともに、授業の改善・充実を推進します。
- ・教育活動の計画・実施・評価・改善のサイクルを機能させます。家庭や地域の方の率直な声を受け止め、改善・充実に努めます。
- ・子どもの問題意識や追究意欲が高まる教材から、自ら課題を見出し、解決するための計画・方法を考え、他者と共感・協働し、自己の学びを振り返り次へつなげる探究的な学びを進めます。

④一人1台のタブレット端末の活用を進めます

- ・タブレット端末を「文房具の一つ」と捉え、授業などにおいて積極的に端末を活用し、系統的な指導を進めます。ノートやワークシートも活用し、子どもの特性やそれぞれのよさを生かし活用します。

2 豊かな心の育成

子どもの自尊感情や自己効力感、集団への貢献意欲を高め、多様な他者と協働して課題を解決しようとする態度や能力を育てます。キャリア・パスポートを活用して、目指す姿をもたせ、保護者の方や教師の価値付けを通して自分のよさや取り組んできた過程に気付かせ、将来への希望や社会参画への意識をもたせさせます。また、不登校対策やいじめ、虐待の防止をより組織的に進めます。

① 主体性や自主性を育む取組を推進します

- ・主体性・自主性・協働性を育成するため、学級での学級会や係・当番活動や、委員会活動の充実、縦割り班活動を推進します。異学年との交流や、就学前教育との交流、中学校との連携を進めます。

② 自分のことも相手のことも大切にすることを育みます

- ・家庭、地域との連携を図りつつ、全ての教育活動において多様な文化、生き方、価値観などを認め、尊重し、様々な人と共に生きる態度、心を培います。友達のよさを見付け、お互いを認め合うことを大切にします。困ったときには、それを伝えられる環境づくりをします。
- ・保護者や地域の一層の理解と協力を得て道徳教育の充実を図るため、道徳授業地区公開講座の実施や道徳授業の学校ホームページへの公開などをします。

③ 豊かな感性、情操を高めます

- ・展覧会に向けた取組を通して創造的に創り出す喜びを味わわせ、感性、情操を育みます。
- ・学校図書館の整備などを進めて読書環境を充実し、図書に親しむ子どもの育成に努めます。

④ 基本的な生活習慣を育てます

- ・「松沢小 子どものきまり」「松沢小 学習スタンダード」に基づき、基本的な生活習慣の確立を目指します。
- ・あいさつを充実する取組の推進や、清掃や給食指導などの徹底を進めます。

⑤ 健全育成を推進します

- ・いじめの防止を徹底するため、webQ-U 調査（楽しい学校生活を送るためのアンケート）や児童アンケート調査により実態を把握し、早期発見、早期対応を進めます。
- ・不登校、不適応や児童虐待の未然防止、適切・迅速な対応の徹底を図るために、教職員間での定期的な情報共有や対応を推進します。また、スクールカウンセラーや子ども家庭支援センターなど関係諸機関との連携を積極的に図ります。さらに、校内別室指導（ほっとルーム）やタブレット端末を活用するなどした居場所づくりを進めます。

⑥ 体験活動を推進します

- ・5年生の川場移動教室や6年生の日光林間学園、くすのき学級の河口湖移動教室を実施し、自然や文化などに触れる体験を行うとともに、集団で行動することの意味や価値を学ばせます。
- ・多彩なゲストティーチャーを招いての「本物」を学ぶ機会を設け、赤松学舎の各校と連携しながら様々な教育資源を活用し、魅力ある授業づくりを進めます。

3 健やかな身体の育成

自ら進んで健康な生活を実現していこうとする実践的な態度の育成を目指し、体力向上の取組、保健指導や食育の充実を進めます。

①自ら進んで体力を高めようとする態度・意欲の向上を図ります

- ・体力テストなどを通して子どもが自分の体力の実態を知り、自らの力を高めようとする意欲の向上を

図ります。そのために体育の授業における運動に取り組んでいる時間の比重を高めることに努めます。
また、体力づくり月間を設け、子どもが進んで運動に親しむことができるよう取組を進めます。

②自らすすんで健康・安全な生活を送る力を高めます

- ・感染防止や熱中症防止を徹底し、子どもたちの健康・安全を第一に教育活動を展開します。
- ・自分の身体や健康に関心を持ち、健康で安全な生活を実践していこうとする態度を育てるため、保健の授業や発育測定之机会などを生かした保健指導の充実を進めます。

③食に関する関心を高めます

- ・給食に日本や世界の料理、季節に応じた食材を提供したり食材に接する機会を設けたりし、食への関心を高め、豊かな食生活を実現していこうとする態度を養います。

4 特別支援教育の推進

「せたがやインクルーシブ教育ガイドライン」に基づき、全ての子どもの自立と社会参加、共生を目指し、指導・支援の充実を図るため、特別支援教育を推進します。多様性を尊重し、自立と社会参加、共生を目指し、指導・支援の充実を図るため、特別支援教育を推進します。

①くすのき学級・きはだ学級での指導を充実します

- ・教職員が連携・協力しながら、教科ごとに学習集団や異年齢の集団を構成するなどして一人一人に応じたきめ細かな指導を進めます。

②個に応じた指導を充実します

- ・配慮を要する子について、個別の教育支援計画などをもとに、家庭や関係機関と連携しながら、よりきめ細やかな活動を展開します。
- ・一人一人に応じた配慮、指導、支援の工夫・充実を図るため、特別支援教育コーディネーターや校内委員会を中核として、巡回指導や特別支援教室専門員の活用、帰国・外国人教育相談室との連携を進めます。

③くすのき学級・きはだ学級と通常の学級との交流及び共同学習を推進します

- ・多様な人と共に生きる心や互いに学び合う態度を育てるため、くすのき学級・きはだ学級と通常の学級との連携をより一層推進し、教科・領域の指導や学校行事において共に学ぶ機会を積極的に進めます。特別支援学級の一人一人の実態に応じ、通常の学級の一部の授業に参加する、作品などの交流を行うなど、多様な形での交流及び共同学習を推進します。
- ・松沢小の学区の居住し特別支援学校に通学する子との様々な交流を進めます。
- ・特別支援学級の子との交流などを中心に、障害者理解に関わる取組を推進します。

5 安心・安全な学校づくりの推進

自分の身体や命を守る力を育む防災・防犯・交通安全を展開します。

①自分の身体、命を自分で守る力を高めます

- ・様々な自然災害を想定した多様な避難訓練、警察等と連携したセーフティ教室、不審者対応訓練などを進めます。
- ・警察等と連携して登下校の安全確保、自転車の乗り方や歩き方などの交通安全に関わる指導を進めます。

②学校の環境の整備・充実に努めます

- ・子ども、教職員、用務が連携し、清掃の徹底、校内美化の推進を図ります。
- ・自然環境を整備し、教育活動への活用を進めます。

③事故防止を徹底します

- ・施設・設備及び教育活動に関わる安全管理を徹底します。
- ・校外学習、宿泊体験学習などでの安全確保を徹底します。
- ・食物アレルギーに関わる事故防止を徹底します。
- ・事故発生時の迅速・的確な対応を図るための準備などを進めます。

④災害への対応・準備を進めます

- ・地域の方々や関係機関と連携し、避難所開設・運営に向けた準備・取組を推進します。

6 家庭・地域への積極的な情報発信、連携・協働の推進

「社会にかかわり、これからの社会を担う子どもを育てる」という目標を保護者・地域の皆様と共有し、子どもが社会と向き合い、人生を切り拓く力の育成を目指す社会に開かれた教育課程の実現に努めます。

①学校への理解を深めていただくよう努めます

・教育活動の実際や子どもの様子、学校の取組などをホームページ、学校公開、学校だよりなどにより、積極的に情報発信していきます。

②家庭や地域の方々との連携を推進します

・子どもが自ら地域を支える人材として育っていくよう、PTA、学校運営協議会などのお力をいただきながら教育活動を進めます。

・中学校や就学前教育との円滑な接続を図るため、赤松学舎での連携・交流を進めます。

③保護者や地域の方々の声を受け止め、学校の改善を進めます

・学校の改善・充実を進めるため、様々なアンケートなどを通して、子ども、保護者、地域の方々の率直な声を受け止めていきます。

7 教職員の資質・能力の向上、業務の効率化の推進

「みんなの子どもを、教職員、保護者、地域が一体となった『チーム松沢』で育てる」として、教職員が力を合わせ、教育活動を進めます。

①学校運営・教育活動の絶え間ない改善を進めます

・学校関係者評価を活用し、子ども、保護者、地域の方々、教職員の声を把握し、分析して学校運営や教育活動に関わる課題の明確化や改善策の立案・推進を進めます。

・より効果的で効率的な学校運営を推進します。

②それぞれの「強み・よさ」の共有化を図ります

・それぞれの教職員がもっているこれまでの経験や研修会等での情報を教育活動の改善・充実に生かしていきます。

・「報告」「連絡」「相談」の徹底や課題を一人で抱え込まない信頼関係、最悪を想定した危機対応を進めます。

③「質の高い学び」と「持続可能な学校」を実現するために、働き方改革を進めます

・教職員の事務等の負担の軽減を図り、創造的な時間の余白を増やし、教員の健康保持や豊かな私生活でのインプットの充実を進め、教育の質の向上につながるよう校務支援システムの活用、オンライン会議、スクールサポートスタッフの効果的な活用などを進めます。

④サービスの厳正

・教職員の非行は学校に関わる全ての人々への背信行為であり、積み重ねてきた学校関係者の努力を一瞬にして打ち消します。あらゆる非行を根絶する学校風土を築きます。

5 目指す学校像

◎子どもが主役の学校「明日も学校に行きたい」

・学校が好き ・友達が好き ・先生が好き

◎保護者の方、地域の方とともに子どもを育てる学校「学校に協力しよう」

・様子が分かる ・相談しやすい ・安心できる ・任せられる

◎教職員が高め合う学校「松沢小の教職員でよかった」

・子どもの成長とともに喜ぶ ・自分も同僚も力量を高められる

・得意なことや強み、持ち味を生かしてよりよい学校づくりに力が発揮できる

・チームで取り組む